

2020 年度 第 5 回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2021 年 2 月 22 日 (月) 18 : 30 ~ 20 : 12

2. 形態 Zoom 会議

3. 出席者

【幹事】山崎 準二 (学習院大学・事務局長)、児玉 佳一 (大東文化大学・事務局次長)、
松田 哲 (流通経済大学・事務局次長)、齋藤 智志、渡辺 恵 (杏林大学)、高瀬 幸恵、
石黒 康夫 (桜美林大学)、荒木 裕貴 (共立女子大学)、鈴木 隆弘 (高千穂大学)、
小澤 貴史、戸川 点 (拓殖大学)、下田 好行 (東洋大学)、岡明 秀忠、鞍馬 裕美
(明治学院大学)、鈴木 芳明 (跡見学園女子大学)、森 慎二 (鎌倉女子大学)、片岡 祥二、
八島 裕幸 (共栄大学)、佐々木 竜太 (清和大学短期大学部)

【事務担当】兼重 淑恵 (学習院大学)

【オブザーバー】眞田 克典、大島 真夫、勝山 洋美、常盤 朋子 (東京理科大学)、山本 智子
(国立音楽大学)、齋藤 史夫 (東京家政学院大学)、長嶺 宏作 (帝京科学大学)、
瀬川 大 (日本女子体育大学)、吉田 真理子、伊藤 民子、松本 知久、西村 志乃
(洗足学園音楽大学)

4. 協議

〔報告事項〕

(1) 研究部の活動について

- ・第 1 部会 : 「新型コロナウイルスによる教育実習への影響に関するアンケート調査」の実施と集計が完了し、報告書を部会員に配付した。
- ・第 3 部会 : 「コロナ禍における教職カリキュラムの課題～実践力形成を目的とした科目の運営、教育委員会との連携を中心に～」をテーマとして、2 月 9 日に部会を開催し情報交換と討議を行った。
- ・第 4 部会 : 第 3 回研究会を、「コロナ禍における教育実習の対応について」をテーマとして、3 月 6 日に開催する。
- ・第 6 部会 : ハラスメント・ガイドラインを集め、検討中である。
- ・第 7 部会 : 1 月 26 日に「コロナ禍の中での教育実習及び介護等体験」というテーマで、部会を開催し、各大学の対応等を情報交換・討議した。

○地区の活動について

- ・千葉・茨城地域部会 : 1 月 28 日に「道德教育の研究」をテーマとして、第 2 回研究会を開催した。講演後、各セッションに分かれての情報交換・討議を行った。次回は、5 ~ 6 月に実施予定。
- ・神奈川・山梨地域部会 : 2 月 27 日に研究会を開催することで、具体的な準備を進めている。
- ・北部地域部会 : 1 月末から進めているアンケート調査が終了し、その結果を踏まえて、2 月 26 日に第 2 回研究会を実施することとなった。前半は「教育実習・介護等体験」問題を、後半は「教職課程における自己点検・評価」問題を、それぞれテーマとして情報交換・討議予定。

(2) 会報の編集について

森広報部長より、『会報（87・88 合併号）』の校正等の編集作業は最終段階に入っており、発行は当初の予定より若干遅れ 3 月上旬となる見込みであること、また、『会報 89 号』に掲載予定の昨年 12 月開催の研究懇話会の記録も初校が仕上がってきており、今後、次期広報部と引継ぎしながら編集作業を進めていきたいこと等の報告がなされた。

〔審議事項〕

(1) 2021 年度 幹事校・世話人の体制について

山崎事務局長より新幹事の研究部、広報部及び部会の新世話人の所属を依頼した。

次期の事務局次長、研究部・広報部の副部長・部員及び各部会の世話人を幹事校会で決定し、承認した。

あわせて関私教協の年間活動について、また、事務局長・事務局次長の全私教協との関わりについて説明した。

(2) 2021 年度 総会・合同研究大会、研究懇話会、研究部総会・研究部会への準備について

山崎事務局長より、2021 年度 5 月の合同研究大会について、東教協事務局での検討状況含め、関私教協としての今後の準備についても説明が行われた。

(3) 加盟校の退会について

山崎事務局長より、資料に基づき、2021 年 1 月 19 日付け、上野学園大学より 2020 年度末をもつての退会届が提出されたことの説明があり、承認された。

(4) その他

第 6 回幹事校会については、以下のとおり。

第 6 回：2021 年 3 月 22 日（月）18：30～（Zoom 形態）

【配付資料】

資料 1：関私教協組織運営図等

資料 2：2021 役員大学担当表

資料 3：退会届

以 上